

イラワジ河岸の旧石器

はじめに ミャンマー連邦（ビルマ）を流れる大河、イラワジ（エーヤワディー）河の中流部には河岸段丘が発達している。チャウク付近などでは、19世紀末からイギリス人による油田開発に伴う地質調査が行われ、段丘上の堆積層から石器が採集された。発見報告やそれに基づく分析が1930年代にかけて公にされている。その後は新規の報告や研究はほとんどないというのが実態である。

林立するバゴタで有名なバガン地域でも、旧石器と考えられる石器が採集され、ヤンゴンの国立博物館などに展示されていた。ミャンマー考古局のアウン・チャイは、バガンの東にあるニャウー空港の北で石器を採集しタン・タウン・ゴン遺跡として認知していた。奈文研がミャンマーにおいて仏教遺跡、都市遺跡の調査を行う中で森本は1997年1月にこの遺跡を訪れる機会を得た。現地調査

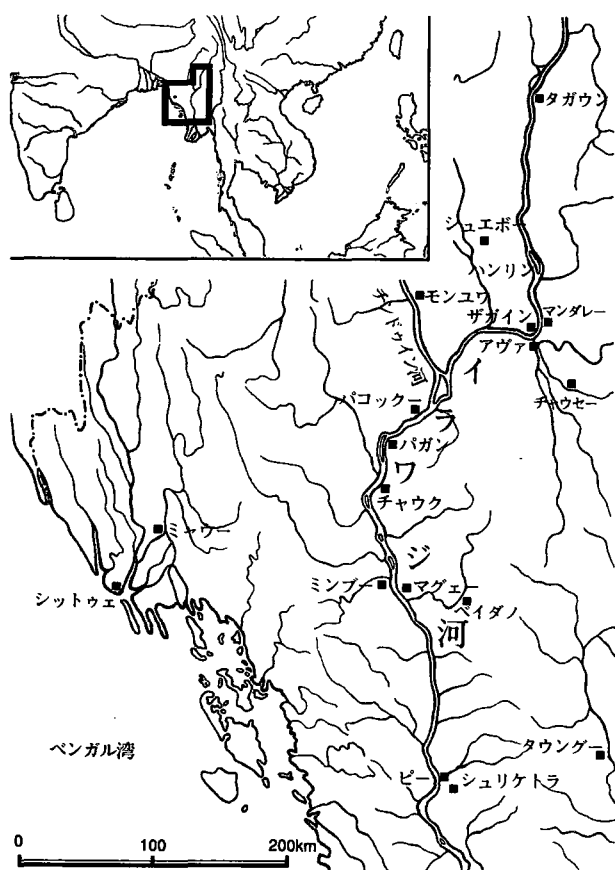


図8 イラワジ川中流域

は1999年1月、2001年12月にも行い、考古局の協力を得て、バガン考古博物館所蔵遺物の調査や考古局所蔵文献の調査も行うことができた。

モリスの研究成果 既存の研究で最も詳しいモヴィウスらの業績 (Terra & Movius 1939) については、芹沢が紹介している (芹沢1961)。そこで、ここではそれらのもととなったモリスの研究 (Morris 1932, 1935) に触れておく。彼は、イラワジ河、チンドウイン河流域での段丘面を最上位から順に、タウンザーンミン面、タウングビン面、コンビンミン面、コンビン面、レビン面、カイン面に区分した。

タウンザーンミン面、タウングビン面で見られる粗い剥離で尖頭部や縁辺を作り出す礫や礫片は下位の段丘上では発見できないため最も古い時期のものと考えた。コンビンミン面では礫層からシェール型の磨滅していない珪化木製ハンドアックス (モヴィウスがチョッピングツールに比定) を採集した。もっとも、モリスが収集した石器の大半は、長さが2インチを超えることはまれな小さな剥片石器で、スクレイパー (削器、搔器、凹形スクレイパー)、彫器、尖頭石刃 (尖頭石刃、小型の石刃)、錐が認められ、上部旧石器に比定している。

旧石器とされる資料はすべて表採によるもので、確実な年代を決定できないが、石器の形と石材は新石器のものとはまったく異なるという。出土も旧石器は上位の段丘に限られ、新石器はすべて下位のコンビン面、レビン面で見られる。石器の用材は、段丘礫に含まれる良質の結晶質流紋岩と流紋岩質凝灰岩、石英脈岩、珪岩、珪化木である、としている。

現地調査 タン・タウン・ゴン遺跡の現地踏査では、詳しい地形図が入手できないこともあって、段丘の広がりなどを確認できなかった。遺跡の周辺のみが、高位の段丘面がイラワジ河近くまで延びてきているように見受けられる。段丘面には1 m弱の礫層が堆積しており、珪化木をたくさん含んでいる。礫層中で最も大きな礫は珪化木である。珪化木を石器製作に用いたとすれば、その理由のひとつが大きさにあると考えられる。ただ、珪化木は剥離痕の認定が困難であり、人工的に加工されたものなのか、自然の作用で生じたものなのか判断に苦しむことが多い。表採品の資料1点をとりあげて、人工か自然かを議論してもあまり意味がないと考えている。

今後の展望 パガン地域の南方には、ナッ信仰とリゾートで有名なポッパ山がある。この山は火山で、活動年代が人類の活動と重なる可能性が高い。火山噴出物の遺物との層位関係などの追及も今後なされるべきであろう。

先に述べたように、河岸段丘はパガン地域の上流にも下流にも良好な広がりを見せており、大規模な新石器時代遺跡の発掘調査も行われている。旧石器に関してもある有望なフィールドであることは間違いない。博物館等に所蔵されている既存資料の調査とともに研究の進展に期待したい。

(森本 晋)

参考文献

- Morris, T. O. "A Palaeolith from Upper Burma." *Journal of Burma Research Society*, Vol.XXII Part. I. (1932) 19-20, photo
 Morris, T. O. "The Prehistoric Stone Implements of Burma." *Journal of Burma Research Society* Vol.XXV, Part III, 1935.
 Terra, H. de & Movius Jr., H. L. *Research on Early Man in Burma* 1939.
 芹沢長介「洪積世の南アジア 旧石器、中石器時代」『世界考古学大系8 南アジア』15-31頁 1961

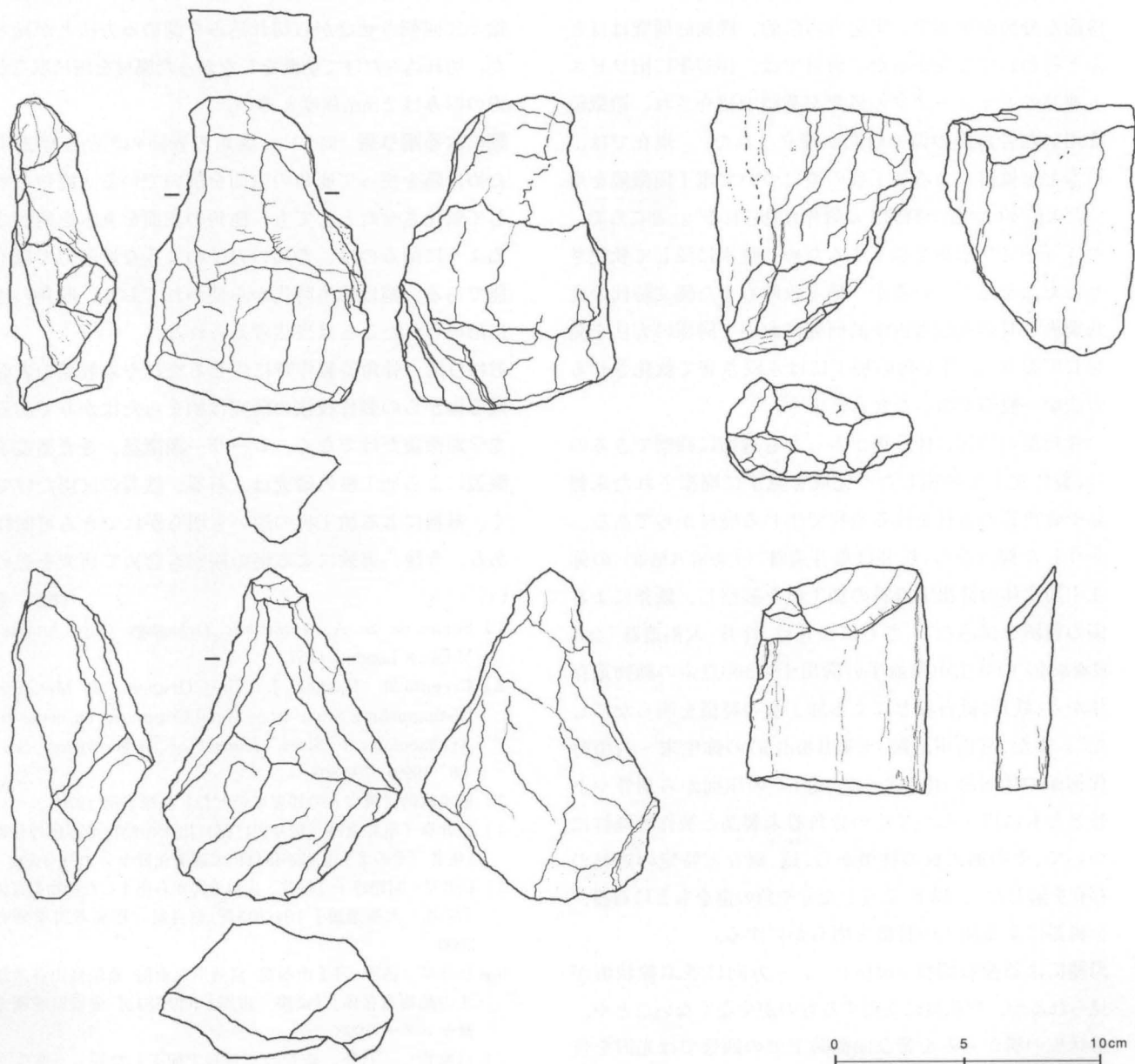


図9 タン・タウン・ゴン遺跡採集資料